

東京カンテイ「マンションデータ白書 2010【速報値版】」を発表

近畿圏新築マンションは前年比 26.4%増の 21,718 戸 3年ぶりに増加

全国の新築供給戸数は 85,176 戸 近畿圏と首都圏が牽引し 5年ぶりに増加に転じる

近畿圏の新築マンション供給戸数 ~ 前年比 26.4%増、大阪府 18.4%増、兵庫県 71.4%増

2010年の近畿圏新築マンション供給戸数は 21,718 戸で 2009年の 17,186 戸から 26.4%増加した。2007年以降 3年ぶりに供給増に転じた。

府県別に見ると、滋賀県と和歌山県では依然として供給回復に至っていないものの、京都府では 83.0%増、兵庫県が 71.4%増と大きな回復を示したほか、大阪府が 18.4%増、奈良県が 13.1%増と供給が拡大した。全国における新規供給戸数は 5年ぶりに増加に転じたが、この回復の原動力は近畿圏と首都圏の回復によるものである。沖縄県を除くその他の地域では依然として供給減少が続いている。

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	10年前年比
北海道	3,657	3,945	2,698	1,677	1,320	78.7%
東北地方	4,534	4,294	2,893	1,554	724	46.6%
北関東地方	6,167	5,208	3,611	1,381	267	19.3%
首都圏	79,623	61,364	48,123	38,059	47,343	124.4%
北陸・中部地方	4,187	2,724	2,783	1,181	491	41.6%
中部圏	11,697	8,957	8,440	5,505	4,606	83.7%
滋賀県	1,847	1,173	1,107	1,034	388	37.5%
京都府	1,844	3,364	2,023	1,103	2,019	183.0%
大阪府	16,242	15,881	10,194	11,616	13,755	118.4%
兵庫県	7,288	7,443	6,198	3,007	5,153	171.4%
奈良県	1,323	1,557	1,043	259	293	113.1%
和歌山県	371	106	197	167	110	65.9%
近畿圏	28,915	29,524	20,762	17,186	21,718	126.4%
中国地方	7,251	6,939	3,152	2,536	2,222	87.6%
四国地方	2,502	1,612	1,945	1,120	912	81.4%
九州地方	12,914	10,687	8,143	7,355	5,191	70.6%
沖縄県	555	318	142	314	382	121.7%
全国	162,002	135,572	102,692	77,868	85,176	109.4%

近畿圏新築マンションの価格動向 ~ 平均価格は 3年連続下落 専有面積の縮小で坪単価は上昇

近畿圏新築マンションの平均価格は 3,244 万円となり、前年比 7.2%下落した。平均専有面積が 67.38 m²と 9.9%も縮小した影響で、平均坪単価は前年比 3.0%上昇し、159.2 万円となった。近畿圏の平均坪単価は依然高止まりの傾向となっており、直近のピークであった 2008 年の 158.5 万円を上回っている。

